

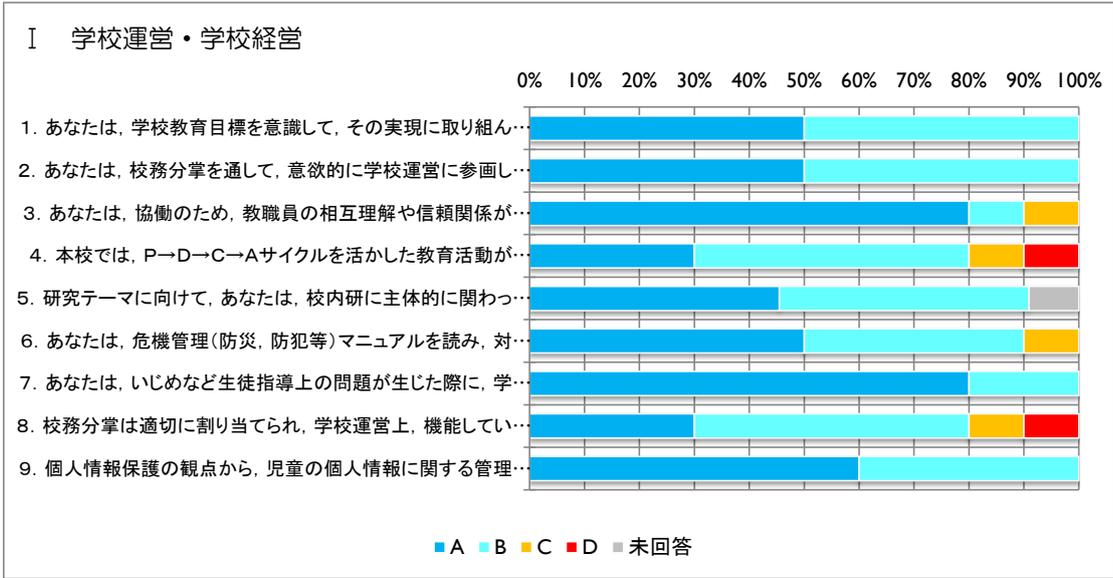
令和6年度芦安小学校（後期）学校評価「教職員自己評価」の結果と考察について

評価基準	A：そう思う	B：ややそう思う	C：ややそう思わない	D：そう思わない	1.0名回答
評価点数	A：4点	B：3点	C：2点	D：1点	

赤字：成果 青字：課題

I 学校運営・学校経営

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	後期	前期
1. あなたは、学校教育目標を意識して、その実現に取り組んでいる。	5	5	0	0	0	3.5	3.5
2. あなたは、校務分掌を通して、意欲的に学校運営に参画している。	5	5	0	0	0	3.5	3.5
3. あなたは、協働のため、教職員の相互理解や信頼関係が深まるよう努めている。	8	1	1	0	0	3.7	3.6
4. 本校では、P→D→C→Aサイクルを活かした教育活動が取り組まれている。	3	5	1	1	0	3.0	3.2
5. 研究テーマに向けて、あなたは、校内研に主体的に関わっている。	5	5	0	0	1	3.5	3.4
6. あなたは、危機管理（防災、防犯等）マニュアルを読み、対応について理解している。	5	4	1	0	0	3.4	3.3
7. あなたは、いじめなど生徒指導上の問題が生じた際に、学校全体で組織的に対応する体制が整備されていると思う。	8	2	0	0	0	3.8	3.8
8. 校務分掌は適切に割り当てられ、学校運営上、機能している。	3	5	1	1	0	3.0	3.2
9. 個人情報保護の観点から、児童の個人情報に関する管理システムが確立している。	6	4	0	0	0	3.6	3.8



○自由記述

2-①分掌の仕事で大変な時や困っている時に、他の先生方が相談に乗ってくれたり、助けてくれたりするので、意欲的に業務に携わることができている。

3-①それぞれの先生方が周りを見ながら声掛けをしてくれて、気持ちよく働いています。ありがとうございます。

4-①取組の後は、速やかに「反省」ではなく、「振り返り（リフレクション）」をして、次回のために、「提案資料をすぐに書き直してしまう」のがよい。

4-②昨年度の反省を生かしながら、教育活動を円滑に行うことができている。

4-③時々報告をうっかりしますが、よいと思います。

7-①他の職員や管理職に報告しやすい環境ができています。

7-②管理職の先生方からタイミングよく資料が出され確認して、学ばせていただいています。

8-①それぞれの先生方が、自己の最善を尽くして取り組んでいただいていることがよく伝わります。本当にありがとうございます。ただし、個人の観点からは、立場の違いも含めて意見があると思いますので、この場でしっかり挙げていただきたい。

8-②欠員のままスタートしたため仕方がないと思いますが、兼務であるため中学校の対応に割かれる時間があり、事務処理時間がとても追いつきませんでした。たくさんの方のご協力をいただきながら、なんとかやってきましたが、緊急時の対応が出た場合に危険が伴います。サポートに入りますので、来年度は改善をお願いします。

○自己評価（達成状況・改善策）

○2の「あなたは、校務分掌を通して、意欲的に学校運営に参画している。」と3の「あなたは、協働のため、教職員の相互理解や信頼関係が深まるよう努めている。」の項目の結果より、職員同士で声を掛け合い、協力し合っている様子が伺える。教職員が気持ちよく働けることは、児童の教育活動に良い影響を与えられることになるので、この職員間の良い関係性を維持していきたい。

○5の「研究テーマに向けて、あなたは、校内研に主体的に関わっている。」の項目に関しては、外国語活動の推進、または、一人一実践に取り組んだりして、どの職員も熱心に取り組み、児童の「主体性」を引き出す授業づくりを推進していくことができた。

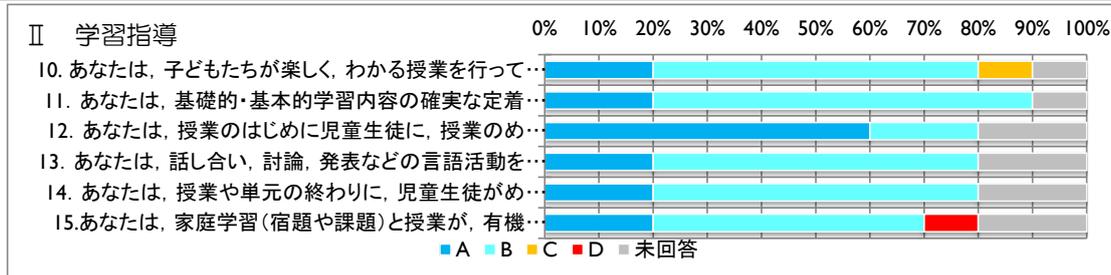
○4の「本校では、P→D→C→Aサイクルを活かした教育活動が取り組まれている。」の項目において、昨年度の反省を生かして、学校行事等の教育活動を行うことができていると思われる。今後も「反省」と「振り返り」を生かして、円滑に教育活動を行ってきたい。

●半面、4の項目において、管理職や全体への報告が遅れてしまう場面が見られたので、改善する必要がある。

●8の「校務分掌は適切に割り当てられ、学校運営上、機能している。」の項目において、2学期から3年生担任の不在により、すべての教職員が、自分に割り当てられた仕事以外の仕事をせざるを得なくなり、多くの負担を背負ってしまった。人手不足は、教職員の心身の健康面に影響し、それは児童への教育活動まで大きく影響してしまう問題でもあるので、すぐにでも解決する必要があると考える。

II 学習指導

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	後期	前期
10. あなたは、子どもたちが楽しく、わかる授業を行っている。 (児Ⅱ-1・保Ⅱ-11)	2	6	1	0	1	3.1	2.8
11. あなたは、基礎的・基本的学習内容の確実な定着に努めている。 (児Ⅱ-7・保Ⅱ-12)	2	7	0	0	1	3.2	3.4
12. あなたは、授業のはじめに児童生徒に、授業のめあて(目標)を示している。	6	2	0	0	2	3.8	3.0
13. あなたは、話し合い、討論、発表などの言語活動を効果的に取り入れた指導を行っている。(児Ⅱ-8・9)	2	6	0	0	2	3.3	2.8
14. あなたは、授業や単元の終わりに、児童生徒がめあて(目標)を達しているかを確認する「振り返り」の過程を設けている。	2	6	0	0	2	3.3	3.1
15. あなたは、家庭学習(宿題や課題)と授業が、有機的に結びつく指導を行っている。(児Ⅱ-10 保Ⅱ-13)	2	5	0	1	2	3.0	2.8



○自由記述

10-①自分の担当している教科では、自分なりに工夫しているつもりです。

11-①少人数であるがゆえに、様々な工夫の余地があります。わずか3人でも、実態は一人一人違うので、「個に応じた指導」の実現を目指して皆で知恵を出し合ひましょう。

12-①(授業のめあては、)授業の「はじめ」にこだわらなくとも良いと考えています。冒頭で復習や動機付けを行い、イントロダクションが終わってから、子どもたちの課題意識も高まってきたところで「めあてを提示」するという方法も、私は取り入れています。

12-②あえて提示せずに「今回の授業でみなさんは学んだことは何ですか」と問いかける場合もあります。「授業のはじめ」という硬直化した考え方は、「学びの自由と教師の創造性」を削らせてしまうと考えています。

14-①先日、日本教育技術学会に行きました。様々な分科会講師や全体会講師が「振り返りこそが大切」と言っていました。ある実践家は「振り返りを10分間取る」と言っていました。「振り返りをするに足るだけの充実した学習(授業)が求められている」ということです。みなさん、柔軟な発想で「振り返り」をしてください。

15-①宿題は出していません。強制的な宿題は、あまり身に付きません。子どもが「先生!この間学校で勉強してきたことを家でもやってきました!」と自ら動くようになっていくのが理想です。難題ですが挑戦を続けます。

○自己評価（達成状況・改善策）

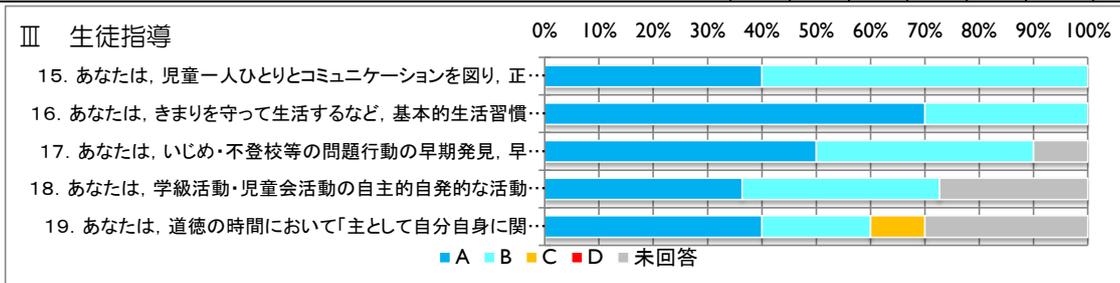
○学習指導においては、全体的に前期を数ポイントずつ上回っていた。特に教職員が一人一人の児童に合わせ、ICTを活用した「個に応じた指導」を積極的に取り入れられている。また、前期の反省を生かし、少人数ながらも「話し合い、討論、発表」などの言語活動を授業に積極的に取り入れた「協働的な学び」も実践している。このような教師側の努力が、児童のアンケートの「6授業は楽しいですか。」や「7授業は、分かりますか。」の項目のポイントが上回ったことに繋がっているのではないかと考える。今後も、一人一人の児童の実態に合った学習方法を模索し、児童にとって「楽しい」「分かる」授業を実践していきたい。

○12の「あなたは、授業のはじめに児童生徒に、授業のめあて（目標）を示している。」と14の「あなたは、授業や単元の終わりに、児童生徒がめあて（目標）を達成しているかを確認する「振り返り」の過程を設けている。」の項目のポイントが、前期より上回っていることから、「めあて」と「振り返り」を授業の中に位置付けることも意識していることが伺える。児童が、授業の中で「何を学ぶのか」または、「何を学んだのか」が分かる授業を実践していきたい。

●15の「あなたは、家庭学習（宿題や課題）と授業が、有機的に結びつく指導を行っている。」の項目においては、家庭学習の考え方は、それぞれであるが、児童が「もっとやりたい」「もっと調べてみたい」と思って自主的に学習できるような教材の投げかけ、課題の投げかけを模索していきたい。

Ⅲ 生徒指導

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	後期	前期
15. あなたは、児童一人ひとりとコミュニケーションを図り、正しい児童理解や共感的理解に努めている。	4	6	0	0	0	3.4	3.6
16. あなたは、きまりを守って生活するなど、基本的な生活習慣を身につけさせるように努力している。	7	3	0	0	0	3.7	3.7
17. あなたは、いじめ・不登校等の問題行動の早期発見、早期対応を行っている。	5	4	0	0	1	3.6	3.7
18. あなたは、学級活動・児童会活動の自主的自発的な活動を促し、児童の「心の居場所づくり」となる学校、学級づくりに努めている。	4	4	0	0	3	3.5	3.5
19. あなたは、道徳の時間において「主として自分自身に関すること」を重点的に扱っている。	4	2	1	0	3	3.4	3.4



○自由記述

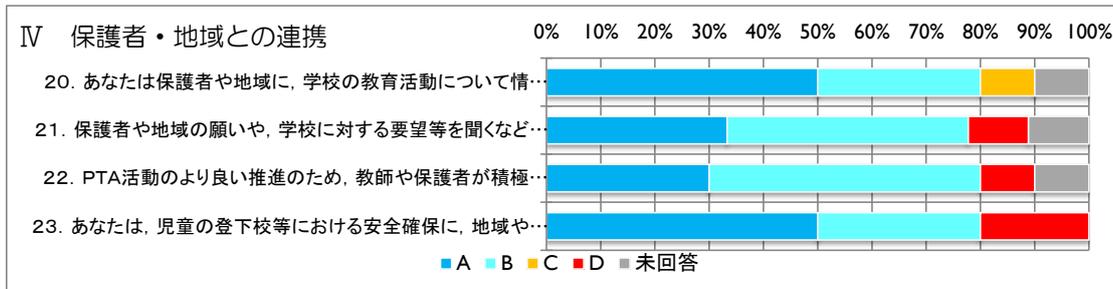
なし

○自己評価（達成状況・改善策）

○すべての項目において、前期と大差はないが、肯定的評価が多い。特に「17. あなたは、いじめ・不登校等の問題行動の早期発見、早期対応」については、SSWやSCなど専門家との連携をはかりつつ、問題の早期発見・早期対策を行ってきた。具体的には、個々の児童についてケース会議を開き、SCから教職員がコンサルテーションを受け、対応を検討し、共通理解を図りチームで対応することができた。今後も、小規模校の利点を活かしながら、一人一人の児童とのコミュニケーションを大切にして、それぞれの児童のよさを認めていく雰囲気づくりを続けていきたい。

Ⅳ 保護者・地域との連携

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	後期	前期
20. あなたは保護者や地域に、学校の教育活動について情報の提供・公開を行っている。	5	3	1	0	1	3.4	3.4
21. 保護者や地域の願いや、学校に対する要望等を聞くなどの機会や工夫をし、情報の収集に努めている。	3	4	0	1	1	3.1	3.2
22. PTA活動のより良い推進のため、教師や保護者が積極的に関わるよう努めている。	3	5	0	1	1	3.1	3.1
23. あなたは、児童の登下校等における安全確保に、地域や保護者とともに積極的に関わるよう努めている。	5	3	0	2	0	3.1	3.4



○自由記述

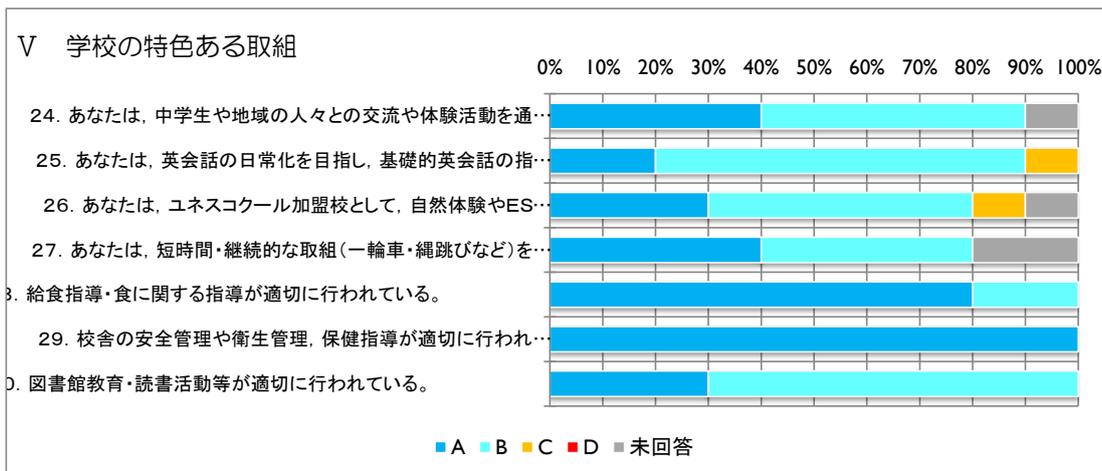
20-①学校だよりやホームページを何とか続けています。リアクションがなく、寂しい思いをしています。「学校だよりを掲示していない教室」がありますね・・・。
 22-①教頭先生が、農園やPTA活動で、積極的に動いてくれています。感謝です。
 23-①個人的に登下校について、あまり関わる事ができていません。すみません。

○自己評価 (達成状況・改善策)

○学校だよりや学年だより、ホームページにて、学校の教育活動についての情報提供・公開は行われている。今後も積極的に学校での出来事や児童の活躍を地域や保護者に情報共有していきたい。
 ●来年度は、学校農園を中心に保護者と地域の方々が学校と連携して教育活動をしていく機会を作っていきたい。

V 学校の特色ある取組

具体的評価項目	A	B	C	D	未回答	後期	前期
24. あなたは、中学生や地域の人々との交流や体験活動を通して、子供たちの豊かな人間性をはぐくんでいる。(児I-5 保I-5)	4	5	0	0	1	3.4	3.1
25. あなたは、英会話の日常化を目指し、基礎的英会話の指導法の工夫とコミュニケーション能力の育成を図っている。	2	7	1	0	0	3.1	3.0
26. あなたは、ユネスコクール加盟校として、自然体験やESDへの取り組みを進めている。	3	5	1	0	1	3.2	3.4
27. あなたは、短時間・継続的な取組(一輪車・縄跳びなど)をとおして基礎体力・運動能力の向上と運動の日常化を図っている。	4	4	0	0	2	3.5	3.5
28. 給食指導・食に関する指導が適切に行われている。	8	2	0	0	0	3.8	3.7
29. 校舎の安全管理や衛生管理、保健指導が適切に行われている。(児IV-21 保I-9)	10	0	0	0	0	4.0	3.7
30. 図書館教育・読書活動等が適切に行われている。	3	7	0	0	0	3.3	3.6



○自由記述

26-①イングリッシュタイムの充実をさらに図りたいですね。

○自己評価 (達成状況・改善策)

○すべての項目において、肯定的評価が多い。特に「28. 給食指導・食に関する指導が適切に行われている。」「29. 校舎の安全管理や衛生管理、保健指導が適切に行われている。」については、全職員が肯定的評価をつけている。どちらも、養護教諭が積極的に全校に働きかけ、全職員で取り組むことができ、その成果を感じることができた。今後も継続していきたい。

○24の「あなたは、中学生や地域の人々との交流や体験活動を通して、子供たちの豊かな人間性をはぐくんでいる。」の項目については、2学期に中学生や地域の方々と連携して、小中合同運動会や白峰祭を作り上げることができた。

VI その他(自由記述)

- ・回答項目が多すぎるように思います。県からも「評価項目は20程度」と指針が出ています。あれもこれも追い求めるのではなく、重点的に取り組む観点を絞りこみ、その分意識を焦点化して取り組みたいものです。(→R5年度は22項目でやっていたようなので、来年度R7年度は、その22項目で実施します。)
- ・本校は、児童も保護者も個性的な人が多く、生徒指導上の諸問題や、保護者対応等に追われがちですが、ICT機器の活用も含め「授業改善」について、もっともっとみんなで考えたり相談したりする機会が欲しいです。校内「研究」ではなく校内「研修」です。私も音頭を取りますので、「地力をつける取組」をみんなでしていきたいと思います!
- ・管理職の先生方のご指導の下、少ない人数でも声を掛け合って助け合って皆さんで頑張ってきたと思います。今後もよろしくお願いいたします。